

各学校では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びが確実に保障されるよう、オンライン学習の取組を進める必要があります。今号では、小樽市教育委員会の取組と帯広市立西小学校の電子図書を活用する取組を紹介します。



端末の持ち帰りに係る環境の整備

端末の持ち帰りに当たっては、家庭の理解と協力を得ながら、児童生徒が安心・安全に端末を利用できる環境を整えることが大切です。

小樽市教育委員会では、臨時休業や夏季休業期間に端末を持ち帰り、安心・安全に使用するためのルールやマニュアルを作成し、教職員や保護者、児童生徒に周知を図っています。また、家庭で使用するWi-Fiルーターの貸出しも行うなど、端末の持ち帰りに向けた支援を進めています。

臨時休業等を想定した準備

小樽市内の小・中学校では、臨時休業等を見据えて、端末を持ち帰り、Google Meetを活用したオンライン学習を試行しています。

また、各学校では、オンライン学習の実施に向けた研修を行うほか、端末の持ち帰りに関する家庭からの質問に対し、きめ細かく対応しています。



オンライン学習に向けて機器や接続の確認を行っています。

夏季休業中の端末の持ち帰りによる取組の例



- ◎ 学校で実施することができなかった調理実習を各家庭で行い、調理したものを端末のカメラで記録し、授業で交流する予定。
- ◎ 学校に登校できない生徒と週1回、ウェブ会議サービスを活用して、1時間程度の学習を行った。
- ◎ 全学年で端末を持ち帰り、タイピングの練習に取り組んだ。



今号のコラム

帯広市におけるICTを活用した取組

帯広市立西小学校では、帯広市図書館の電子図書を活用する取組を進めています。電子図書を活用することで、児童は学校にいながらにして、読みたい本をいつでも読むことができるようになりました。

毎日の朝読書の時間には、1人1台端末を使って、読みたい本を探し、読書を楽しむ児童の姿が見られるようになりました。

また、授業で調べ学習を行う際には、図書資料をダウンロードして調べたり、ダウンロードした資料を用いて、学習の成果をまとめたりするなど、様々な活用が進められています。

電子図書を活用した児童からは、「いつでもどこでも本を読むことができるのが嬉しい!」、「自分で好きな本を検索して選ぶことができるのがすごい!」、「本の量が多くて選ぶ楽しみがある!」などの感想が聞かれます。



1人1台端末を使って、朝読書をしています。



1人1台端末は、有効性を踏まえた多様な活用が期待されています。

地域の図書館の電子図書を活用し、児童一人一人の情報活用能力を育む取組として、帯広市立西小学校の実践は多くの示唆を与えてくれます。

授業でも電子図書を効果的に活用しています。

ICT教育推進課のページ



[まずはこちらへ!](#)

ICT活用ポータルサイト



[最新情報が満載!](#)

「みんなで研修」プログラム



[短時間でICT活用を学べます!](#)

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

